

株式会社メニコン 2026年3月期第3四半期 決算説明会	
開催日時	2026年2月16日、10時～11時
説明資料	2026年3月期 第3四半期決算説明資料 https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS08353/d8b5f67d/ca3d/4918/ac20/67c6cc10da29/20260212113746619s.pdf
説明会登壇者	取締役兼代表執行役社長 CEO 川浦康嗣 執行役 総合統括本部長 CFO 古賀秀樹 財務&IR部 部長 伊藤裕治
開催形式	オンライン開催

※本資料は、2026年2月16日に開催した決算説明会における説明内容の概要を記載したものであり、将来の見通しに関する記述を含む場合があります。

■決算説明要旨

I.2026年3月期第3四半期 連結業績概要

2026年3月期 連結業績サマリー



ビジョンケア事業の伸長により増収増益

(百万円)	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	91,509	93,932	+2.6%	+2.4%
売上原価	42,069	43,064	+2.4%	+2.0%
(原価率)	46.0%	45.8%	(△0.2pt)	-
売上総利益	49,439	50,867	+2.9%	+2.8%
販売費及び一般管理費	40,870	41,867	+2.4%	+1.7%
(売上高販管費率)	44.7%	44.6%	(△0.1pt)	-
営業利益	8,569	8,999	+5.0%	+7.6%
(売上高営業利益率)	9.4%	9.6%	(+0.2pt)	-
EBITDA*	14,654	16,514	+12.7%	+14.2%
(EBITDAマージン)	16.0%	17.6%	(+1.6pt)	-
経常利益	8,198	9,465	+15.5%	+17.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,115	6,348	+24.1%	+28.0%

2025/3期3Qにおける実勢レート EUR: 165.1円、USD: 153.0円、CNY: 21.1円

2026/3期3Qにおける実勢レート EUR: 172.9円、USD: 149.3円、CNY: 20.5円

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却から算出

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認いただけます。
<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html>

3



Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

1DAYの供給量増加とグローバルでの販売拡大により、ビジョンケア事業が伸長

(百万円)	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	91,509	93,932	+2.6%	+2.4%
ビジョンケア*	84,556	87,127	+3.0%	+2.8%
1DAY	23,013	25,008	+8.7%	+8.4%
国内_メルスプラン	16,818	17,436	+3.7%	-
国内_物販	4,093	5,054	+23.5%	-
海外	2,101	2,517	+19.8%	+16.4%
オルソケラトロジー関連	11,263	10,900	△3.2%	△1.2%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	50,278	51,218	+1.9%	+1.1%
ヘルスケア・ライフケア	6,952	6,804	△2.1%	△2.0%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	73,292	76,227	+4.0%	+3.4%
メルスプラン	37,377	37,946	+1.5%	-

* 2025/3期3Qにおける実勢レート EUR : 165.1円、USD : 153.0円、CNY : 21.1円

2026/3期3Qにおける実勢レート EUR : 172.9円、USD : 149.3円、CNY : 20.5円

* オルソケラトロジー関連に含まれるオルソK(グローバル)は、2026/3期より集計方法を一部見直し

4



【売上高】

第3四半期の売上高は、前年同期比2.6%増の939億円となった。1DAYの販売拡大が主因であり、オルソケラトロジー関連の小幅な減収をカバーし全体として増収となった。

「1DAY」および「その他コンタクトレンズ・レンズケア」は、市場成長並みの4.0%増の762億円となった。

【1DAY】

1DAYの売上高は前年同期比19億円増の250億円となった。シリコン素材の自社製品の増産および国内OEM導入による供給量の増加等により売上高が拡大した。海外では欧州・中国・北米で販売が拡大した。メルスプランは1DAYの会員数が増加し、需要取り込みに成功している。チャンネル別ではメルスプランが6.1億円増、国内物販が9.6億円増、海外が4.1億円増と、すべてのチャンネルで増収となっている。

【オルソケラトロジー関連】

オルソケラトロジー関連の売上高は前年同期比3.6億円減の109億円となった。中国市場における競争環境激化および人民元の円高影響が減収要因である。オルソケラトロジーレンズは、中国ではシェアを維持したものの減収となった。その一方、国内を含むアジア諸国等での市場開拓により増収となり、前年同期比横ばい水準を維持している。レンズケアは、販促活動の効果が見られたが、前年同期比4.0億円の減収となった。

【その他コンタクトレンズ・レンズケア】

「1 DAY」および「オルソケラトロジー関連」を除く、「その他コンタクトレンズ・レンズケア」の売上高は、前年同期比9億円増の512億円となった。メルスプランは、従来型レンズは需要縮小傾向にあるため会員数が減少傾向であるものの、売上高は概ね横ばいを維持している。一方で、欧州での1MONTH拡販、東南アジアでのM&A効果、北米へのレンズケアの販売拡大等が順調なことにより、セグメントの売上高全体は堅調に推移している。

【売上総利益】

売上総利益は前年同期比2.9%増の508億円となった。オルソケラトロジー関連減収の影響はあったものの、「1 DAY」および「その他のコンタクトレンズ・レンズケア」の販売拡大等により、前年同期比14億円の増益となっている。

【営業利益】

営業利益は前年同期比5.0%増の89億円となり、増益に転じた。マレーシア工場関連の減価償却費増加や成長投資の増加はあったが、1 DAYの販売拡大による売上総利益の増加や構造改革効果が寄与し、増益となった。

EBITDAは営業利益を上回る増益幅となっており、基礎的な収益力は改善している。

II.2026年3月期通期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想と進捗状況



連結業績予想は変更なし

営業利益：4Qにマレーシア工場稼働に伴う原価計上や、1DAY拡販等の中長期成長に向けた販管費投入を見込む
 当期純利益：4Qに主に一過性の費用の計上を想定

(百万円)	2025/3期実績	2026/3期3Q実績	2026/3期予想	進捗率
売上高	121,491	93,932	125,000	75.1%
売上原価	56,456	43,064	58,900	73.1%
(原価率)	46.5%	45.8%	47.1%	---
売上総利益	65,034	50,867	66,100	77.0%
販売費及び一般管理費	55,022	41,867	55,900	74.9%
(売上高販管費率)	45.3%	44.6%	44.7%	---
営業利益	10,012	8,999	10,200	88.2%
(売上高営業利益率)	8.2%	9.6%	8.2%	---
EBITDA	18,457	16,514	19,200	86.0%
(EBITDAマージン)	15.2%	17.6%	15.4%	---
経常利益	9,567	9,465	9,500	99.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	6,348	5,800	109.5%

2025/3期実勢レート EUR：163.7円、USD：152.6円、CNY：21.1円
 2026/3期3Q実勢レート EUR：172.9円、USD：149.3円、CNY：20.5円
 2026/3期(予想)前提為替レート EUR：161.2円、USD：142.6円、CNY：19.0円

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

14

売上高の内訳と進捗状況



売上高全体は概ね計画線上で推移

大手量販店向け取引拡大タイミングの影響により、進捗は計画を下回る

オルソケラトロジー関連：中国において為替が想定より円安基調で推移していることから、進捗は計画を上回る

(百万円)	2025/3期実績	2026/3期3Q実績	2026/3期予想	進捗率
売上高	121,491	93,932	125,000	75.1%
ビジョンケア	112,327	87,127	116,100	75.0%
1DAY	30,940	25,008	34,700	72.1%
メルスプラン	22,458	17,436	23,300	74.8%
国内物販	5,740	5,054	7,000	72.2%
海外	2,742	2,517	4,400	57.2%
オルソケラトロジー関連	14,889	10,900	12,500	87.2%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	66,496	51,219	68,900	74.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	6,804	8,900	76.5%

(参考) 2026/3期のメルスプラン売上高として、510億円を予想
 2026/3期3Qのメルスプラン売上高は379億円(進捗率74.4%)

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

15

【連結業績予想】

連結業績予想は2025年5月に発表したものから変更しない。

【売上高見通し】

第3四半期時点で売上高は概ね計画線上で推移している。連結売上高は、業績予想通りの着地を見込んでいる。

【1 DAY 見通し】

供給量の増加等により国内外で売上高は着実に拡大している。第4四半期は、需要期に向けた販促活動により販売拡大を想定する。一方、海外量販店向け販売について、商談は進展しているものの立ち上がりに時間を要しており、業績予想対比で下振れる可能性がある。海外量販向けの販売拡大は、中長期的な成長ドライバーとして位置付けており、継続的に拡大を図っていく。

【オルソケラトロジー関連見通し】

中国市場においては、顧客との関係強化や学術的なアプローチ、需要期以外の販促活動の強化を通じ、オルソケラトロジーレンズのトップシェア維持を目指す。加えて、人民元が想定よりも円安基調で推移していることから、業績予想対比で上振れることを想定する。

【売上総利益見通し】

マレーシア工場の稼働による原価計上が想定されるものの、グローバルでの1 DAYの販売拡大や中国でのオルソケラトロジー関連売上高の上振れ見込みによるミックスの改善により原価上昇が一定程度抑制される見込み。これらを踏まえ、売上総利益は業績予想対比で上振れる見通し。

【営業利益見通し】

売上総利益は業績予想対比で上振れることが想定される。一方、需要期および1 DAY 拡販に向けた販促投資を強化するほか、円安影響が加わり、販管費は業績予想を上回る増加を想定している。これらを踏まえ、営業利益は業績予想通りの着地を見込む。

【当期純利益見通し】

海外子会社における為替差益の計上等により、当初予想に対して進捗が高い水準にあるが、第4四半期には一過性の費用も計上を想定している。

Ⅲ.中期経営計画マイルストーン 2027 の進捗と今後の見通し

【1 DAY 戦略】

マレーシア工場の稼働により、1 DAY 戦略は実行フェーズに入った。当社は生産能力を先行して整備し、その後に販売を拡大する戦略としている。競合に先行して投資を進めており、生産体制面での優位性があると考え、今後の生産能力増強はスケジュール通りに進む見込み。

【海外展開】

今後の成長余地は海外にある。ただし、段階的な拡大を見込む。海外大手量販チェーンとの取引では、生産能力確保が商談条件となる場合があり、販売拡大に先行して生産能力を引き上げる必要がある。国内ではリニアな売上高拡大、海外では年度ごとに起伏しながらの成長を想定している。生産量と販売量にギャップがある間は、原価率や在庫水準が一時的に変動する可能性があるが、これは中長期成長に向けた戦略的投資である。

【収益構造】

コンタクトレンズ市場の成長は1 DAY が牽引している。当社は市場を上回る成長を目指す。一方で、マレーシア工場が既存工場水準の生産効率に到達するまでには時間を要し、一時的に原価構造に影響が生じる可能性がある。円安やインフレ、中国オルソケラトロジー関連の現況、1 DAY 拡販の販促投資強化等を踏まえ、収益構造の改善ペースは慎重に見ている。しかし、生産量の拡大と生産効率向上を実現することで、目標の達成は射程圏内にあると認識している。